

報告書抄録

ふりがな	せいなんちくいせきぐんはつかつちようさほうこくしよ4							
書名	盛南地区遺跡群発掘調査報告書Ⅳ							
副書名	盛南南新都市開発整備事業関連遺跡平成13～18年度発掘調査① 台太郎遺跡							
編著者名	津嶋知弘							
編集機関	盛岡市遺跡の学び館（刊行：独立行政法人都市再生機構・盛岡市・盛岡市教育委員会）							
所在地	〒020-0866 岩手県盛岡市本宮字荒屋13番地1 電話 019-635-6600							
発行年月日	2012年9月30日							
ふりがな	ふりがな	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
所収遺跡名	所在地	市町村	遺跡番号	(世界測地系)			(㎡)	
だいたろういせき 台太郎遺跡	いわてけんもりおかし 岩手県盛岡市 むかいなかの 向中野 だいたろう・ようかいちば 台太郎・八日市場ほか	03201		39° 40' 57"	141° 08' 25"	37次:2001.5.28-6.22 38次:2001.6.1-6.15 39次:2001.8.1-11.2 42次:2001.11.26-12.12 43次:2001.11.26-12.12 43次補足:2002.4.22 45次:2002.5.7-8.9 46次:2002.10.11-11.12 47次:2002.11.6 48次:2002.11.21-11.22 49次:2002.12.24-12.25 56次:2005.6.20-6.21 57次:2005.6.6-8.5	872 309 1,302 123 112 42 1,618 334 184 326 49 50 1,047	土地区画整理 事業等
所収遺跡名	種別	主な時代		主な遺構		主な遺物		特記事項
台太郎遺跡 第37次調査	集落	古代 古代以降		竪穴住居跡1 土坑5,溝跡2		土師器		
第38次調査		なし						
第39次調査		古代 中世 近世以降		竪穴住居跡12, 土坑10,溝跡18, 焼土遺構1 掘立柱建物跡1,堀 跡2 溝跡1		土師器,須恵器,あかやき土器,土錘, 紡錘車,フイゴ羽口,鈿,刀子,釧,鉄鏝 中国青磁,須恵器系陶器,瓷器系陶器		
第42次調査		古代		竪穴住居跡1,土坑2, 溝跡2		土師器,須恵器		
第43次調査		なし						
第43次補足調査		なし						
第45次調査		古代 古代以降 中世		竪穴住居跡13, 竪穴状遺構4 土坑36,溝跡11 掘立柱建物跡5, 掘立柱列跡1,堀跡2		土師器,須恵器,あかやき土器, 土錘,足金物,手鎌,釘 北宋銭 中国青磁・白磁・瓷器系陶器		
第46次調査		古代 中世		竪穴住居跡2		土師器,ミニチュア土器,土製勾玉 切羽 唐銭,北宋銭		
第47次調査		なし						試掘確認調査
第48次調査		古代		竪穴住居跡,土坑, 溝跡				試掘確認調査 (保存)
第49次調査		なし						試掘確認調査
第56次調査		古代		土坑1				
第57次調査		古代 近世		竪穴住居跡6,土坑1 掘立柱建物跡2, 土坑5,溝跡5		土師器,須恵器,あかやき土器,土錘, 砥石 北宋銭,寛永通宝		
要約	盛南地区遺跡群は、平安時代初頭の延暦22年(803)に朝廷が造営した古代城柵「志波城」の南東方に位置し、7世紀より続く一大勢力「志波エミシ」が10世紀まで拠点とした古代集落群が主に確認されている。台太郎遺跡は、古代の竪穴住居跡が約660棟を数え、盛南地区遺跡群で最大の集落である。本書掲載の調査では奈良・平安時代の竪穴住居跡35棟を精査し、多数の遺物が出土しており、主に遺跡中央部と西部の集落の様相を明らかにすることができた。また、不整五角形に堀が囲む中世の居館跡の西部を精査し、堀跡及び掘立柱建物を確認することができた。							